令和4年度環境経営レポート

（対象期間：令和4年5月～令和5年4月）

第 13 版

株式会社 熊本環境エンジニアリング

作成日： 令和5年6月23日

目次

環境経営方針 . . . . . .P 1

組織の概要 . . . . . P 2

認証・登録の対象組織・活動 . . . . . .P 3

実施体制図・主な環境負荷の実績 . . . . . P 4

中期環境経営目標 . . . . . .P 5

R4年度目標 と実績 . . . . . .P 6

環境経営計画及び実施状況の評価 . . . . . P 7

環境関連法規の遵守状況・代表者による全体の評価と見直し . . . P 8

次年度の環境経営目標及び環境経営計画 . . . . . .P 9

環境活動の紹介 . . . . . .P 10

株式会社熊本環境エンジニアリング

環 境 経 営 方 針

私たちは環境経営の継続的改善を実施しつつ、下水処理の業務に
携わる者の立場から環境問題を考え、熊本の豊富な水資源を後世に
残せるよう、社員の技術の向上を図るとともに会社一丸となって
環境保全活動を進めていきます。
また、産業廃棄物収集運搬業において、効果的な環境経営システムを
構築し温室効果ガスの低減を目指します。

＜活動計画＞

1．具体的に次のことに継続して取り組みます。

① 電力・自動車燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
② 使用原材料の省資源化、廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
③ 水資源の節水
④ 事務用品のグリーン購入
⑤ 整理整頓活動の実施
⑥ 地域貢献活動の推進

2．環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3．環境経営方針を全社員に周知し活動します。

制定日：2010/12/13
改定日：2021/10/1

代表取締役社長 杉浦　慶司

□組織の概要

（1）名称及び代表者名
株式会社熊本環境エンジニアリング
代表取締役社長　杉浦　慶司

（2）所在地
本社：〒861-8035　熊本市東区御領2丁目3番36号

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　　統括部長 志垣　　TEL：　096-380-0900
担当者　　渡辺　　FAX：　096-389-2626

（4）事業内容
下水道施設の維持管理業務、一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬、
建設物・道路・公園等の清掃・設備運転管理

（注記）
①化学物質や環境に影響を及ぼす物質の使用はない。
②事業に使用する環境負荷は本社全体として把握している。

（5）事業の規模

活動規模	単位	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
売上高	百万円	173	192	235	241	223	223
従業員数	人	27	27	34	36	36	32
受託事業所を除く人数	人	18	18	25	27	27	23
床面積	㎡	271	271	271	271	271	271
資本金	万円	2100	2100	2100	2100	2100	2100

（6）創立年月日：　平成元年5月1日

（7）事業年度　：　5月～4月

（8）産業廃棄物収集運搬業許可の内容、施設等の状況など

・産業廃棄物収集運搬業

自治体	許可番号	許可年月日	有効年月日	品目
熊本県	第4301029510	R2.3.23	R7.3.22	金属くず・動物のふん尿・ばいじん・燃え殻・汚泥・廃油・廃プラスチック類
福岡県	第4000029510	R2.10.17	R7.10.16	汚泥
長崎県	第4200029510	R1.7.13	R6.7.12	汚泥

・一般廃棄物収集運搬業

自治体	許可番号	許可年月日	有効年月日	品目
熊本市	第22R-71号	R4.4.1	R6.3.31	ごみ（事業ごみと臨時の家庭ごみ）

（9）収集運搬車の台数と種類

10t ダンプ　5台	3t クレーン　2台	2t トラック　1台
2t パッカー　1台	2t クレーン　1台	1t トラック　1台

（10）受託産業廃棄物処理実績（期間　5月　～　翌年4月　まで）

		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
収集運搬量(t)	汚泥(t)	5042	5108	5477	5686	6043.2	6601.4
	焼却灰(t)	0	0	14801.0	17265.9	15319.51	0

（11）受託一般廃棄物処理実績（期間　5月　～　翌年4月　まで）

		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
収集運搬量(t)	廃棄物(t)	12.66	30.79	17.39	126.60	164.73	104.63

□認証・登録の対象組織・活動

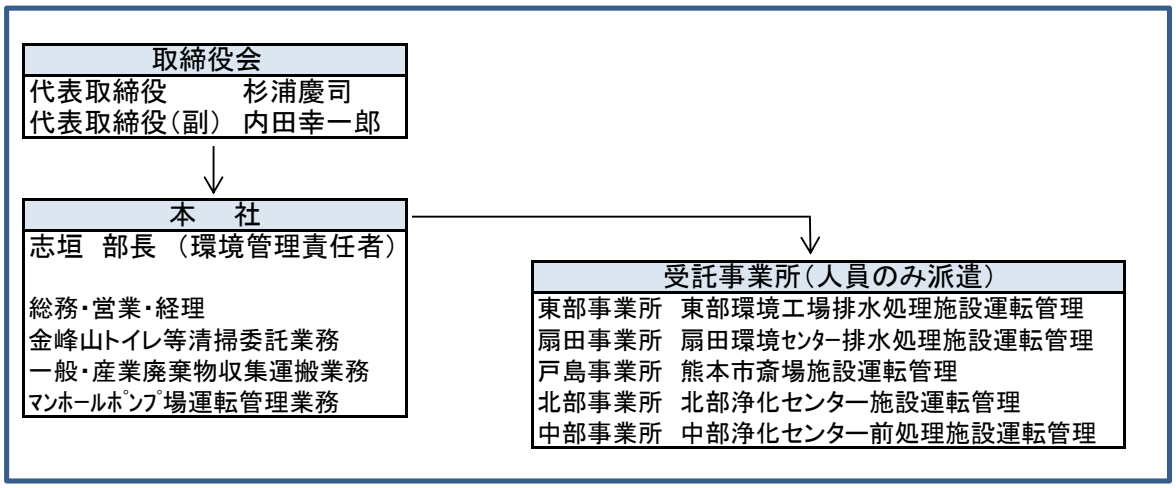
＜認証登録範囲＞

認証・登録番号	0007590
認証・登録事業者	株式会社熊本環境エンジニアリング 熊本県熊本市東区御領2丁目3番36号
事業活動	下水道施設の維持管理業務、一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬、 建設物・道路・公園等の清掃・設備運転管理
対象事業所	本社
認証・登録日	2011年10月19日

特記事項：

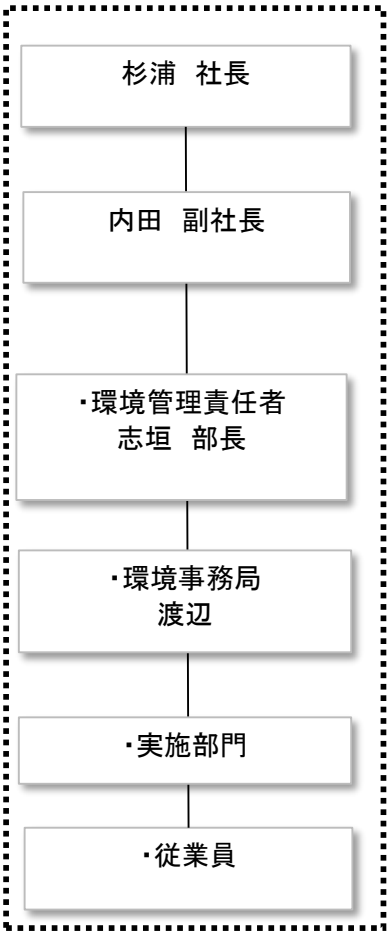
本社事務所建屋は関連会社の熊本環境保全センターと共同のものとなっている。
環境データの電気、ガス、水道においては熊本環境保全センターの使用量も
含まれている。両社協力して、これらの環境負荷削減に取り組んでいる。

株式会社熊本環境エンジニアリング組織図



※ 北部事業所につきましては九州ﾃｸﾆｶﾙﾒﾝﾃﾅｽ㈱IOS14001の管理下で活動

□実施体制図



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案のの作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・部門における環境方針の周知 ・部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 ・部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□中期環境目標

	CO_2排出係数	単位	基準年 R1年度	今年度 R4年度	R5年度	R6年度
1. 電力削減				−2%	−3%	−4%
		kWh	17246			
売上当り(百万円)		kWh/百万円	73.4	71.9	71.2	70.5
	0.371(※1)	kg−CO_2	6398			
売上当り(百万円)		kg−CO_2/百万円	27.2	26.7	26.4	26.1
2. ガソリン削減				−2%	−3%	−4%
		ℓ	4135			
売上当り(百万円)		ℓ/百万円	17.6	17.2	17.1	16.6
	2.32	kg−CO_2	9593			
売上当り(百万円)		kg−CO_2/百万円	40.8	40.0	39.6	38.4
3. 軽油削減				−2%	−3%	−4%
		ℓ	58579			
売上当り(百万円)		ℓ/百万円	249	244	242	239
	2.58	kg−CO_2	151134			
売上当り(百万円)		kg−CO_2/百万円	643	630	624	617
4. LPG削減				−2%	−3%	−4%
		kg	83			
売上当り(百万円)		kg/百万円	0.35	0.34	0.34	0.34
	3.00	kg−CO_2	249			
売上当り(百万円)		kg−CO_2/百万円	1.06	1.04	1.03	1.02
CO2削減				−2%	−3%	−4%
(上記CO2合計)		kg−CO_2	167374			
売上当り(百万円)		kg−CO_2/百万円	712	698	691	684
5. 水の削減				−2%	−3%	−4%
		㎥	149			
売上当り(百万円)		㎥/百万円	0.63	0.62	0.61	0.60
6. 紙の削減				−2%	−3%	−4%
		枚	29231			
売上当り(百万円)		枚/百万円	124	122	120	119
7. 廃棄物(可燃物)の削減				−2%	−3%	−4%
		kg	330			
売上当り(百万円)		kg/百万円	1.40	1.37	1.36	1.34
8. グリーン購入率向上(※2)						
		%	71	71	71	71
9. 地域清掃活動						
		回	24	24	24	24

※1　電気事業者別排出係数はR3.1.7環境省・経済産業省公表を使用　0.371(kg−CO_2/kWh)
(九州電力調整後)

※2　アスクル購入品での価格比率

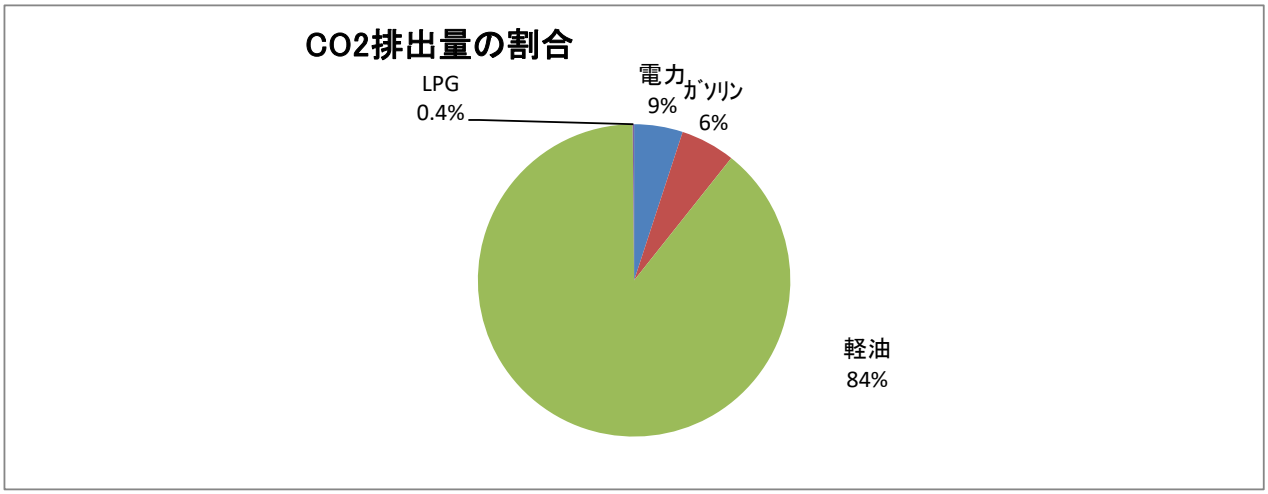
□R4年度目標と実績 （R4年5月～R5年4月）

（項目）	（単位）	R1年度（基準値）	R4年度（目標）	R4年度（実績）	R4年度（差）	R4年度（達成率%）	（評価）※1
1. 電力の削減	kWh/百万円	17246	−2%	17506			△
売上当り(百万円)		73.4	71.9	78.5	−6.6	92%	
2. ｶﾞｿﾘﾝの削減	ℓ/百万円	4135	−2%	3570			○
売上当り(百万円)		17.6	17.2	16.0	1.2	108%	
3. 軽油の削減	ℓ/百万円	58579	−2%	41823			◎
売上当り(百万円)		249	244	188	56	130%	
4. LPGの削減	kg/百万円	83	−2%	103			×
売上当り(百万円)		0.35	0.34	0.46	−0.12	75%	
CO2の削減	kg-CO2/百万円	167374	−2%	122989			◎
売上当り(百万円)		712	698	553	145	126%	
5. 水の削減	㎥/百万円	149	−2%	140			△
売上当り(百万円)		0.63	0.62	0.63	−0.01	98%	
6. 紙の削減	枚/百万円	29231	−2%	26279			○
売上当り(百万円)		124	122	118	4	103%	
7. 廃棄物（可燃物）の削減	kg/百万円	330	−2%	450			×
売上当り(百万円)		1.40	1.37	2.02	−0.65	68%	
8. グリーン購入率向上	%	71	100% 71	25	−46	35%	×
9. 地域清掃活動	回	24	100% 24	24	0	100%	○

・CO2の削減　詳細データ

（項目）	（排出係数）	（単位）	R1年度（基準値）	R4年度（目標）	R4年度（実績）	R4年度（差）	R4年度（達成率%）	（評価）
電力	0.371(※2)	kg-CO2/百万円	6398	−2%	6495			
売上当り(百万円)			27.2	26.7	29.1	−2.4		
ｶﾞｿﾘﾝ	2.32	〃	9593	−2%	8283			
売上当り(百万円)			40.8	40.0	37.1	2.9		
軽油	2.58	〃	151134	−2%	107903			
売上当り(百万円)			643	630	484	146		
LPG	3.00	〃	249	−2%	309			
売上当り(百万円)			1.06	1.04	1.39	−0.35		
CO2排出量（上記合計）		〃	167374	−2%	122989			◎
売上当り(百万円)			712	698	552	146	126%	

※1　評価判定基準　◎：120%以上　○：100～120%未満　△：80～100%未満　×：80%未満
※2　電気事業者別排出係数はR3.1.7環境省・経済産業省公表を使用　0.371（kg-CO_2/kWh）（九州電力調整後）



□環境活動計画及び実施状況の評価と次年度の取組み

◎よくできた　○できた　△あまりできなかった　×全くできなかった

		実施状況	実績評価、次年度の取組内容
1. 電力の削減		未達成	目標未達成。 新型コロナ対策の為、換気扇を常時運転していた。 エアコンのこまめな温度調整と扇風機の併用を実施していたが目標達成出来なかった。
a	不要照明の消灯	○	
b	夏季クールビズ運動	○	
c	エアコンのこまめな温度調整	○	
d	必要以上に冷房を使わない	△	
e	照明のLED化	×	
f	冬季ウォームビズ運動	○	
g	ブラインドを落として直射日光を避ける（夏季のみ）	○	

2. ガソリンの削減	ガソリン	達成	目標達成。 月末に車両点検の実施。毎朝の朝礼で「本日のエコドライブ」として独自に目標を掲げ唱和している。 廃棄物運搬業務の一部縮小があった為目標達成した。
3. 軽油の削減	軽油	達成	
a	エコドライブ実施(安全運転注意喚起)	◎	
b	ﾀｲﾔ空気圧のﾁｪｯｸ	○	
c	車両運転管理	○	
d	徒歩・公共交通機関・自転車の推奨	×	
e	ユニック車・パッカー車作業の効率化	○	

4. LPGの削減		未達成	目標未達成。 給湯器利用時も節水を心掛ける。
a	節水を心掛ける	△	

CO2の削減		達成	目標達成。 軽油の使用量減の影響の為
a	上記1～4の合計による	◎	

5. 水の削減		未達成	目標未達成。 水道蛇口に節水用品の取付けを検討する。
a	漏水点検	○	
b	無駄使いをなくす	×	

6. 紙の削減		達成	目標達成。 業務が減ったことにより達成している。
a	裏紙使用	◎	
b	ミスコピー削減	○	
c	両面コピー積極使用	○	

7. 廃棄物（可燃物）の削減		未達成	目標未達成。 昨年同様、廃棄物運搬業務の影響もあると思われる。
a	分別の徹底	◎	
b	使い捨て製品の削減	○	
c	ファイルの再利用	○	
d	事業所から排出される廃棄物のみカウントする	○	

8. ｸﾞﾘｰﾝ購入率向上		未達成	目標未達成。 優先しての購入がかなわなかった。
a	グリーン商品の優先調達	×	

9. 地域貢献活動		達成	目標達成。 ひと月に数回周辺清掃を実施。
a	会社周辺清掃	○	

10. 整理整頓活動		達成	目標達成。 次年度も継続して行う。
a	整理整頓推進	◎	
b	不要物を溜めこまない	○	
c	表示をして整理しやすくする	◎	
d	工具・用具は元に戻す	○	

□環境関連法規等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法（収集運搬業として）	一般、産業廃棄物を収集運搬するときの法規制	遵守
廃棄物処理法（排出事業者として）	一般、産業廃棄物を排出するときの法規制	遵守
リサイクル法	パソコン、業者の自主回収に協力	該当なし
家電リサイクル法	家電製品を廃棄時の引渡し、料金の支払い	該当なし
自動車リサイクル法	使用済み自動車の引渡し	該当なし
下水道法	下水道への下水の排出	遵守
フロン排出抑制法	3か月毎簡易点検記録	遵守

令和5年6月23日に遵守状況の評価の結果、関連法規制は守られていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘はなく、公訴もありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

環境経営方針、環境目標、環境活動計画、体制の変更の必要性はなし

昨年に続き今年度も新型コロナウイルスで大変な1年でした。換気の徹底や室温調整等、コロナ対策の実施に伴い電力の負担増となりました。節電へ意識は定着してきたと思います。こまめな対応で使用量の上がり幅は抑えられているようです。
紙の削減も裏紙の使用や分別の徹底等で順調に達成できているようです。整理整頓に於いても概ね出来ています。しかしながら、廃棄物、グリーン購入率、水の削減に至っては未達成だったようです。達成に向けて今一度見直しが必要なのかもしれません。今後も社員全員で意見を出し合い一丸となって目標達成に向けて取り組んで行きたいと思います。

令和5年7月20日
杉浦　慶司

□次年度の環境経営目標及び環境経営計画

	CO_2排出係数	単位	基準年 R1年度	R5年度
1. 電力削減				−3%
売上当り(百万円)		kWh/百万円	73.4	71.2
売上当り(百万円)	0.371(※1)	kg−CO2/百万円	27.2	26.4
2. ガソリン削減				−3%
売上当り(百万円)		ℓ/百万円	17.6	17.1
売上当り(百万円)	2.32/2.32	kg−CO2/百万円	40.8	39.6
3. 軽油削減				−3%
売上当り(百万円)		ℓ/百万円	249	242
売上当り(百万円)	2.58/2.58	kg−CO2/百万円	643	623
4. LPG削減				−3%
売上当り(百万円)		kg/百万円	0.35	0.34
売上当り(百万円)	3.00/3.00	kg−CO2/百万円	1.06	1.02
CO2削減				−3%
(上記CO2合計)	売上当り(百万円)	kg−CO_2/百万円	712	691
5. 水の削減				−3%
	売上当り(百万円)	㎥/百万円	0.63	0.61
6. 紙の削減				−3%
	売上当り(百万円)	枚/百万円	124	120
7. 廃棄物(可燃物)の削減				−3%
	売上当り(百万円)	kg/百万円	1.40	1.36
8. グリーン購入率向上				100%
		%	71	71
9. 地域清掃活動				100%
		回	24	24

※1　電気事業者別排出係数はR3.1.7環境省・経済産業省公表を使用　0.371

次年度(R5年度)活動計画表

1. 電力削減

- 不要照明の消灯
- 夏季クールビズ運動
- エアコン夏27℃設定
- 必要以上に冷房を使わない
- 照明LED増加
- 冬季ウォームビズ運動
- ブラインドを落として直射日光を避ける(夏季のみ)

2. ｶﾞｿﾘﾝ削減 3. 軽油削減

- エコドライブ実施
- ﾀｲﾔ空気圧のﾁｪｯｸ
- 車両運転管理
- ユニック車・パッカー車作業の効率化

4. LPGの削減

- 節水を心掛ける

5. CO2の削減

- 上記4項目による
- エコカー・公共交通機関の推奨
- 徒歩・自転車の推奨

6. 水の削減

- 漏水点検
- 無駄使いをなくす

7. 紙の削減

- 裏紙使用
- ミスコピー削減
- 両面コピー積極使用
- 文書のデータ化

8. 廃棄物(可燃物)の削減

- 分別の徹底
- 使い捨て製品の削減
- ファイルの再利用
- 事業所から排出される廃棄物のみカウントする

9. ｸﾞﾘｰﾝ購入率向上

- グリーン商品の優先調達

10. 地域貢献活動

- 会社周辺清掃
- (毎月)

11. 整理整頓活動

- 整理整頓推進
- 不要物を溜めこまない
- 表示をして整理しやすくする
- 工具・用具は元に戻す

□環境活動の紹介

◎　エコアクションチェックシートを作成。
各人で毎月チェックしています。
毎月の平均値を記録、年間を通して全体の総評を行い各人にフィードバックし
エコアクションの意識を高めている。
毎朝朝礼で「本日のエコドライブ」唱和
熊本市事業所グリーン宣言（2012年から）

◎　グリーンカーテン

◎　熊本市事業所グリーン宣言

◎　エコドライブ実施